

METER

スクエアLCD
パワーテストスピードメーター
SQLS1

メーター本体取扱説明書

本書はメーター本体に関する説明書です。
主に各機能の操作方法、取り扱い注意事項、配線図
等を記載しております。

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

この度は、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。 取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。 万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

⚠注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

⚠警告

この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

◎クレームについては、商品に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。 ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。 正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

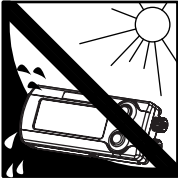
◎この取り扱い説明書は、本商品を破棄されるまで必ず保管下さいますようお願い致します。



本製品はデジタル回路を使用した精密機械です。誤ったご使用は故障の原因となります。必ず取扱説明書内容すべてをご確認、ご理解の上でご使用ください。

H. I. D. 取り付け
点火装置改造
ジェネレーター改造

禁止



社外品のH.I.D.キットはバラスト/インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、故障の原因となりますので使用しないで下さい。

社外品の点火装置(イグニッションコイルやプラグコード)は点火電圧のアップに伴う、悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので使用しないで下さい。

社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので使用しないで下さい。

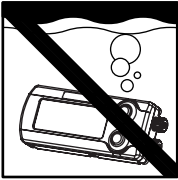
◎本製品のボディーは樹脂製です。

風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。また、液晶の性質として、長い時間、直射日光を受けると画面表示に支障が出てしまいます。なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、異常が出てしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やしてください。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けてください。

●メーター環境温度範囲

EFFECTIVE TEMPERATURE RANGE

-10℃～+60℃



◎本製品は完全防水ではありません。

本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止め、完全に水分を乾燥させてください。洗車時は注意して下さい。

また、湿度が高い場合、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込み画面が曇りが発生する事があります。



◎絶対に分解しないでください。

大変危険ですので分解や改造を行わないでください。

また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。



◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプなど、メーターに伝わる衝撃がとても強い行為は行わないでください。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。



◎お手入れについて

頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落としてください。

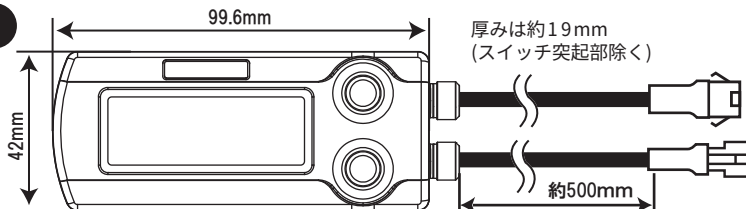
揮発性のあるもの(シンナー・アルコールなど)やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意ください。

A2-1

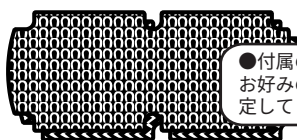
商品内容

メーター本体
METER

縮尺：約50%



マジックテープ
VELCRO SET



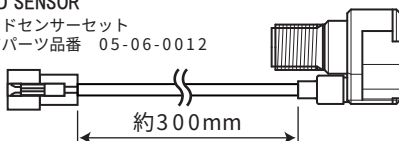
●付属のマジックテープを使用し
お好みの位置にメーター本体を固
定してください。

φ3.5メスギボシセット
HOLE CONNECTER

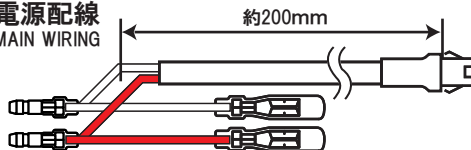


JISケーブル式スピードセンサー
SPEED SENSOR

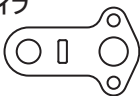
スピードセンサーセット
リペアパーツ番 05-06-0012



電源配線
MAIN WIRING



速度センサーステー
フラットタイプ



速度センサーステー
90ベンドタイプ



タイラップ
2本



配線結束等でご使用下さい。

ソケットキャップスクリュー
M4X16 2個



M4用 スプリングワッシャー
2個



M4ナット
2個



A2-2

機能一覧

SPEED-METER スピードメーター 0~360km (km/h MPH alternative 0~223MPH)

B2

●トリップメーター TRIP-METER ~999.9km(100m単位) リセット可能

●オドメーター ODO-METER ~99999km(1km単位)

●最高速度記録 TOP-SPEED 自動で最高速度を記録。リセット可能

●速度誤差補正
SPEED- ADJUSTMENT

速度表示の[ズレ]を広い範囲で補正することが出来ます。タイヤ種類の変更や、ホイールインチのアップやダウンを行った際にスピードメーター側で補正することが出来ます。

補正範囲：回転ケーブル式仕様(JIS規格を100%)42%~350%

POWER SYSTEM

※タイム測定は前輪の回転速度、回転数からの計算値で行う為、実測記録とは多少異なります。

B3

●完全自動加速測定

フロントホイールの回転開始に運動し計測スタート。
目標速度(距離)に達すると自動で計測ストップ。

●目標速度/中間加速タイム測定
TARGET-SPEED UP TIMING

停車状態又は任意のスタート速度から任意のゴール速度に達するまでのタイムを測定。
スタート速度設定範囲(5km/h単位)：0km/h~355km/h
ゴール速度設定範囲(5km/h単位)：30km/h~360km/h
レコード数：20本

●目標距離到達タイム測定
TARGET-DISTANCE

停車状態から任意の距離に達するまでのタイムを測定。
目標距離設定範囲(50m単位)：50m(1/32mile)~1000m(20/32mile)
レコード数：20本

- センサーの取り付けを考えなくて良い、ケーブル式速度検知方式。
- ホイールサイズ、タイヤ種類変更に対応。
- 多信号/ホイール1回転

●本製品

○よくある従来型

●ケーブル式スピードメーターはJIS規格がある為、ほとんどの国内車両はメーター側の取付け部形状、ケーブル回転数設定が同じです。本製品はケーブル式を採用している為。スピードセンサー等を新たに取り付ける必要はありません。また、ホイールサイズやタイヤ種類が変わった場合にも、[42～350%]の範囲で補正することが出来るため、メーターギアBOXを交換する必要はありません。

○フォーク、ホイール形状がバイクそれぞれで異なるため、スピードセンサーやその対象物の取り付けが難しい。

●本製品

○よくある従来型

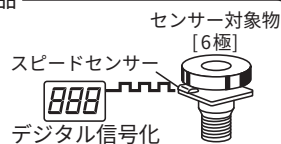
1信号/11.9cm ⇔ 1信号/1400cm?

●本製品はケーブル1回転辺り6信号を得る為、50ccスクーターの場合ホイール1回転辺り約10信号となります。従来型でホイールにセンサー対象物を10個も取り付けた時と同じ信号数という事です。

正確に設定をしますと、車両が11.9cm進む毎に1信号が出る計算となります。

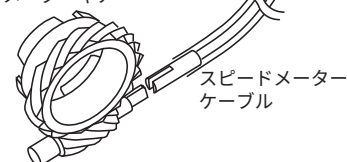
○センサー対象物の数が少ないと、誤差が大きくなります。例えば10インチのホイールのバイクにセンサー対象物1つ付けた場合約1400cm進む毎に1信号しか得られません。これでは発進時や速度変化に対する反応が甘くなってしまいます。

●本製品

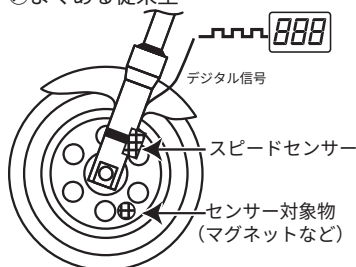


1信号/11.9 cm

ノーマル
メーターギア



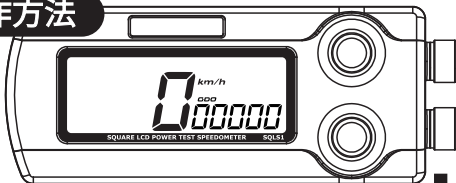
○よくある従来型



A4-1

基本操作方法

表示を
切替



測定種類を
選択

メイン画面

オド / トリップ / 最高記録
ODO / TRIP / RECORD



●オドメーター ~99999km
ODO-METER



●トリップメーター ~999.9km
消去可能 TRIP-METER



●最高記録 最高スピード
MAX-SPEED

消去



消去



加速測定

POWER SYSTEM



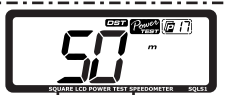
●目標速度 / 中間加速タイム測定
TARGET-SPEED UP TIMING

測定開始



B3 詳細

3秒



●目標距離到達タイム測定
TARGET-DISTANCE

測定開始



B3 詳細

3秒



○レコード数各20本でタイム
比較が行えます。



Fはレコードがいっぱいの時の表示です。
記録01~20のどれかを消すか、セッティング画面で
データをリセットして下さい。

B3-5 詳細

A4-2

セッティング画面

30秒

30秒の間スイッチを1回も
押さなかった場合は、自動
でメイン画面に戻ります。



同時押し
3秒間



セッティング画面

各種設定の変更
が行えます。



項目送り



速度単位変更

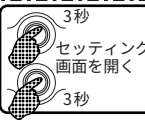
●キロ(km/h)とマイル(MPH)の切替
キロ(km/h)を選択して下さい。
マイルは外国で使用される
単位です。

速度補正

●スピードメーターの
補正を行います。

ケーブル式でホイールタイヤが
ノーマルサイズの時の基本設
定は6.714です。

B2 詳細



POWER SYSTEM

パワースystem設定



目標距離到達時間
●全記録の消去



目標速度到達時間
●全記録の消去



目標距離到達時間
●目標距離を
設定します。
・50~1,000m
B3 詳細



●目標速度(ゴール)を
設定します。
・30~360km/h
B3 詳細



目標速度到達時間
●スタート速度を
設定します。
・0~355km/h

B1

電源の接続

必ずバッテリーの直流電源が必要です。

メーターのギボン端子サイズはホンダ車向けになっております。
(モンキー・ゴリラの場合配線加工無しで使用可)
バイクによって配線を加工する必要があります。
配線はギボン端子を使い接続する事を推奨します。



注意

正しい配線ではキーONだけ(エンジン停止状態)でメーターの電源が入ります。入らない場合は必ず不具合箇所が発見されるまでエンジンを始動しないで下さい。もし、エンジン始動でメーターがONになる状態で使用しますと、メーターが故障してしまいます。

取り付けを再度確認し、不具合の原因箇所を見つけて下さい。・+配線の接続先が間違っている。
・バッテリーの状態が悪い。・バッテリーレス車では使用出来ません。

メーター赤コード

キーON時DC12V電源

黒コードはメーター作動用電源で、キーのON時にDC12Vがかかる配線へ接続して下さい。
エンジン始動で電圧のかかる配線への接続は間違いですのでご注意ください。

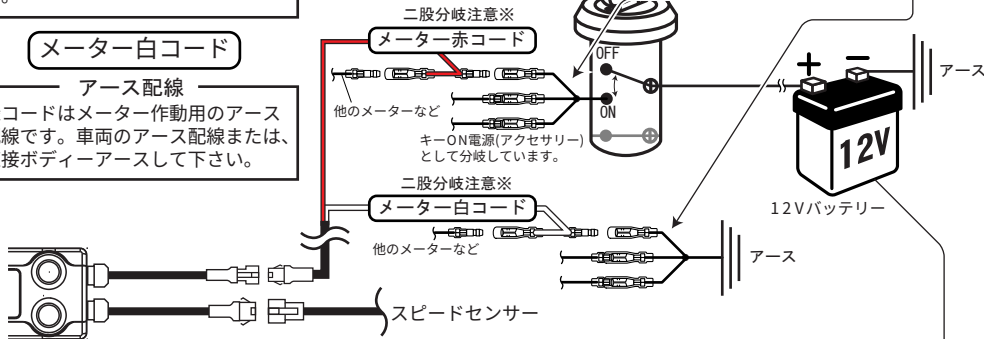
メーター白コード

アース配線

緑コードはメーター作動用のアース配線です。車両のアース配線または、直接ボディーアースして下さい。

キーON時DC12V アース色

各メーカーの 代表配線色 ※車種によって(特に旧車)配線色の異なる場合があります。	HONDA	黒・赤/黒	緑
	YAMAHA	茶	黒
	SUZUKI	橙	黒/白
	KAWASAKI	茶	黒/黄



バッテリーに関して

メーター作動電圧範囲は **DC 8V~15 V** です。
12V電装車でバッテリーの電圧がとても低く弱っており、エンジン始動後に電源がONになる様な場合は、高回転で逆に過電圧になる可能性があります。故障の原因になりますのでご注意ください。

"アドバイス"

エンジンを**停止状態**でブレーキを握り、ブレーキランプを光らせたままさらにウインカーを光らせてみて下さい。この時、ウインカーの点滅速度が異常であればバッテリーの劣化が考えられます。

9V電池での作動に関して

本製品は9V電池でも作動出来るように設計されております。ただし、消費電力を抑える為に9V電池使用時はバックライトが点灯しない設計となっております。約10Vを境にLEDのON/OFFが切り替わります。

禁止事項

・ヘッドライトOFFでの走行の禁止。

ヘッドライト常時点灯車にON/OFFスイッチを取り付け、ライトOFF状態で走行すると、消費されない電力が車両全体の電圧を上げ、バッテリーも過充電になってしまいます。そのまま走行しますと、最終的に過電圧・故障の原因になります。ヘッドライトのバルブが切れてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて(光軸も調整)ください。
この時、可能な限り低回転で走行して下さい。

二股分岐注意※

※2) 二股分岐部の配線に流せる電流量は5Aまでです。キーON後に使用する電装の合計W数が60Wを超える場合は二股分岐部を切り落とし直接車両ハーネスに接続して下さい。

エイブ50/100、XR50/100モーターは別売のバッテリーKIT取り付けで作動できます。
品番09-00-0022、¥7600(税別)

B2-1

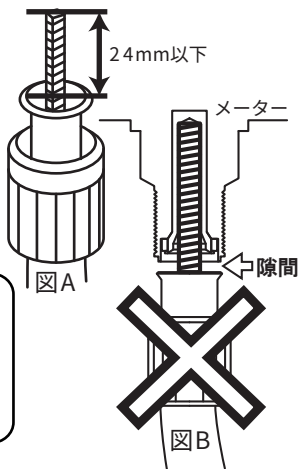
速度センサーの取り付け

ケーブル形状を確認してください。

本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

●ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。図Bのように底つきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識できなくなってしまうです。

本製品はケーブル接続部のみを本体とは別体とする事でスピードメーターケーブルの長さや取り回しの制限に対して、有利な仕様となっています。コードの届く範囲では自由な位置にメーター本体及びセパレートユニットを取り付け出来ます。固定はフロントフォーク、ステアリングを作用範囲を確認しながらケーブルやコードが無理な取り回しにならないよう工夫して行って下さい。

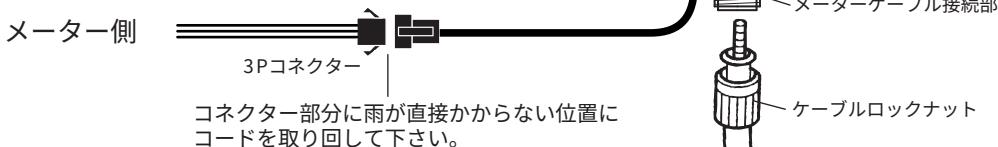


スピードメーターケーブルの接続

ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めてください。

走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けてください。

取り付け後も緩みが無いか定期的に点検してください。



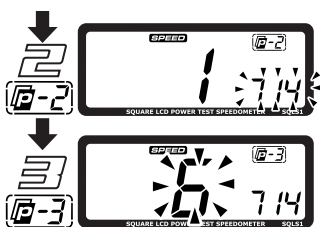
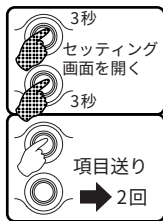
B2-2

速度補正值の設定

●スピードメーターの補正值を入力します。 出荷時設定のままでは、正しい速度を表示しません。

車種、ホイールサイズに関わらず、フロント周りがノーマルであれば、

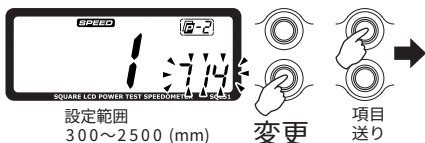
設定値は **6** 714 となります。



進行距離の設定値は、メーターケーブル1回転あたりの車両進行距離 (mm) です。
ノーマルの場合、"714" に設定してください。

信号数の設定値は、メーターケーブル1回転あたりの信号数です。
キット付属のスピードセンサーを使用する場合、設定値は "6" に設定してください。

進行距離の設定



信号数の設定



例) 進行距離を 714mm に設定、信号数を 6 に設定。

補正值を調べる方法は **B2-3**

車種に関わらず、ノーマルのホイール、タイヤ、メーターギアBOXを使用している場合

他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアBOXをセットで使用している場合

補正値計算の必要なし

標準設定値の

6 7/4 でお使い頂けます。

メーターギアBOXはノーマルを使用したまま、タイヤ周長がノーマルから変化した場合。

補正値計算の必要あり

例) モンキーでメーターギアBOXはノーマルのまま
10インチタイヤに変更した場合。

補正値を計算する必要があります。

速度補正値の計算

計算方法 2 は次ページ→

計算方法 1

メーターギア歯数と、現在装着している改造後タイヤ周長から補正値を割り出す方法

1.メーターギヤを分解してギヤ歯数を数えます。

例) ホンダtoday(10インチホイール)
アクスルシャフト側 14T
ケーブル軸側 8T

⚠ ご注意

分解時に破損の恐れがあります。
十分に気を付けて作業を行ってください。

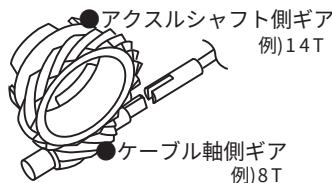
数値A

ケーブル軸側

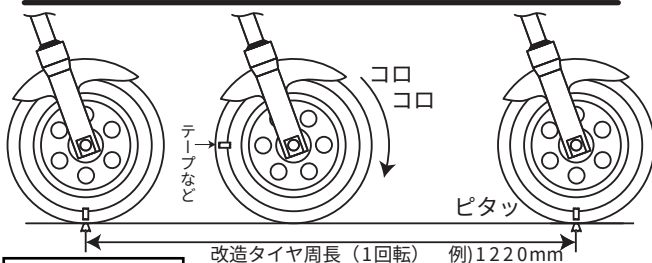
数値B

アクスルシャフト側

(メーターギアBOX内部)



2.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離を測ります。



数値C

タイヤ周長(mm)
例) 1220mm

数値A

例) 8T

数値B

例) 14T

数値C

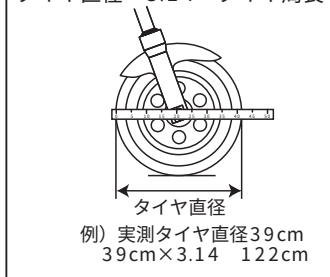
例) 1220mm

答え

進行距離(mm)

例) 697mm

タイヤ直径×3.14=タイヤ周長



ギアボックス種類	モンキー	武川
ケーブル軸側	8T	9T
アクスルシャフト側	13T	17T

太枠内の数値が"進行距離設定値"となります。

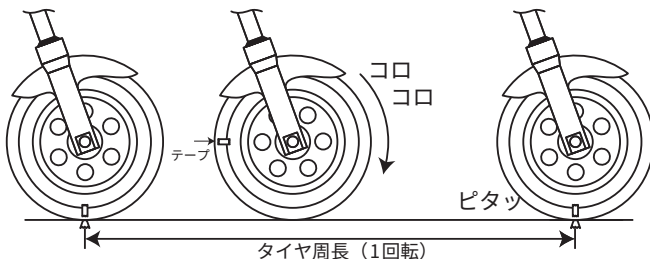
信号数は6を入力して下さい

例) **6** 697

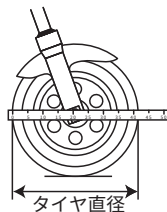
計算方法 2

ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法

テープなどでタイヤと地面に印を付け、タイヤを1回転させてその距離を測ります。



タイヤ周長は、タイヤ直径からでも割り出せます。



タイヤ直径×3.14＝タイヤ周長

例) 実測タイヤ直径39cm
39cm×3.14 122cm

数値A	÷	数値B	× 714 =
改造タイヤ周長 例) 1220mm		ノーマルタイヤ周長 例) 1250mm	

太枠内の数値が"進行距離設定値"となります。
信号数は6を入力して下さい

答え

進行距離(mm)
例) 697mm

例) **6** 697

信号数は6で
固定です。

POWER SYSTEM

加速測定



警告

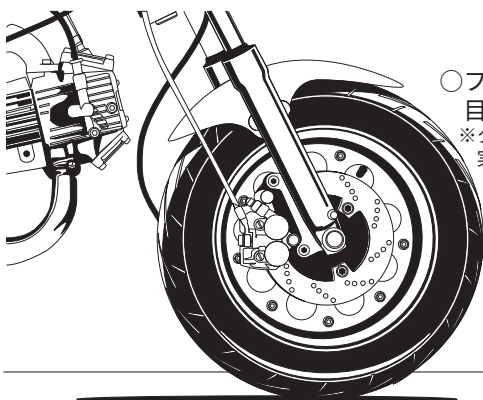
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

加速測定は十分に安全を確保できる見渡しの良い場所で行なってください。(貸切サーキット等)

加速測定時は車両にとって、とても過酷な使用状態となります。その為、測定中に車両破損の可能性が非常に高くなります。走行前に車体の各部を良く点検してください。小さなトラブルでも、原因が分かりその問題が解決するまで絶対に測定を行わないでください。また、走行中にトラブルを感じた場合すぐに安全な場所に停止し、車両を点検してください。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は一切の責任を負いません。



自動測定

○フロントホイールの回転開始に連動し計測スタート。

目標速度(距離)に達すると自動で計測ストップ。

※タイム測定は前輪の回転速度、回転数からの計算値で行う為、実測記録とは多少異なります。



加速測定の種類

加速測定は2種類あります。

TARGET-SPEED 目標速度到達時間測定	停車状態又は任意の速度から任意の速度に達するまでのタイムを測定。 スタート速度設定範囲(5km/h単位)：0km/h～355km/h 目標速度(ゴール)設定範囲(5km/h単位)：30km/h～360km/h
TARGET-DISTANCE 目標距離到達時間測定	停車状態から任意の距離に達するまでのタイムを測定。 目標距離設定範囲(1/32マイル単位)：1/32(50m)～20/32(1000m)

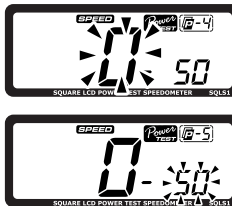
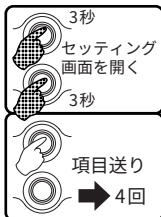
測定したい内容を決め、次項の目標の設定を行って下さい。

B3-2

目標の設定

TARGET-SPEED

目標速度到達時間測定



目標速度到達時間

- スタート速度を設定します。
・0~355km/h

- 目標速度(ゴール)を設定します。
・30~360km/h

スタート速度の設定

SPEED

目標(ゴール)速度の設定



0~355km/h
(5km/h単位)



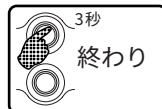
変更 項目送り



30~360km/h
(5km/h単位)



変更

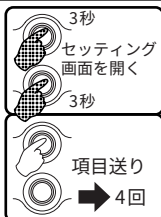


例)スタート速度を0km/hに設定。
目標(ゴール)速度を50km/hに設定。

※スタート速度とはタイム計測を開始する速度です。
0km/hにすると、走行開始と共に計測スタートします。

TARGET-DISTANCE

目標距離到達時間測定



目標距離到達時間

- 目標距離を設定します。
・50~1000m

目標距離の設定

DST



例)目標距離を50mに設定。

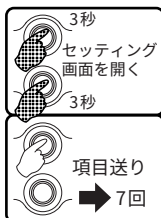
50~1000km
(50m単位)



変更

B3-3

全記録の消去



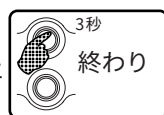
- 目標速度到達時間
- 全記録の消去

- 目標距離到達時間
- 全記録の消去

全点滅



消去中止



消したい測定種類を選んでください。



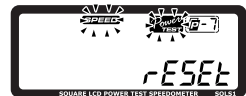
消去



消去の再確認。



消去実行



消去終了。

測定の誤差に関して

目標速度到達時間測定と比較し、記録誤差は小さくなります。ケーブル回転によるマグネット信号回数を単純に走行距離とメーターが認識出来る為です。ただし、スタート時のフロントアップによる誤差は発生してしまいます。測定に慣れた場合はこちらの測定の方が、エンジン改造による加速力の変化を確認し易いです。

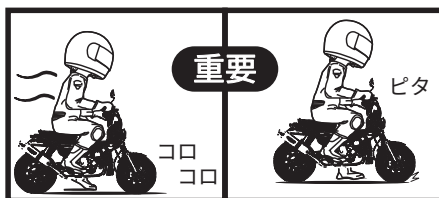


プチ
プチ

B3-4

加速測定の手順

走行場所、周囲の安全を良く確認し、スタート地点に移動して下さい。スタート時の誤差を少なくする為に測定は必ず前進状態から停止し、行ってください。
スピードメーターギア、ケーブル等には少しずつ遊びの部分(ガタ)がある為です。後進後に停止した場合、次に前進した時すぐにメーターが速度を検知できず、それが測定結果に影響してしまいます。



重要

ピタ

コロ
コロ

プチ
プチ

前タイヤが動かないように注意して下さい。

[P1] ~ [P20]

記録可能な残回数です。

[P-F]

Fはレコードがいっぱいの時の表示です。記録の消去が必要です。

B3-5 詳細



STOP

途中ストップ

途中で計測を止める場合。間違って測定がスタートしてしまった場合。(ケーブルの回転に連動するため、わずかな車両の揺れで測定が開始されてしまう場合があります。)もう一度、下ボタンを押すと、途中止めた記録が消去され、再測定します。



Fはレコードがいっぱいの時の表示です。記録の消去が必要です。 B3-5 詳細



CLOSE

測定を終了する

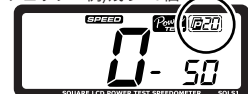
メイン画面

戻る

種類を選択

チェック
例)残り1個

チェック 例)残り20個



SPEED

TARGET-SPEED

目標速度到達時間測定

DST

TARGET-DISTANCE

目標距離到達時間測定

空いている一番小さい番号に記録します。

測定する

3秒

スタート待ち

測定開始



速度 タイム

距離 タイム

- 前輪の回転開始に連動し、測定をスタートします。
- 目標の速度、または距離に達した時点で時計は自動でストップします。
- 記録の確認は安全な場所に停止し、行ってください。

本製品はフロントホイールの回転から計算している為、正確に測定するには必ずフロントアップしないよう走行してください。



測定終了



速度 タイム

距離 タイム

再計測

再測定する

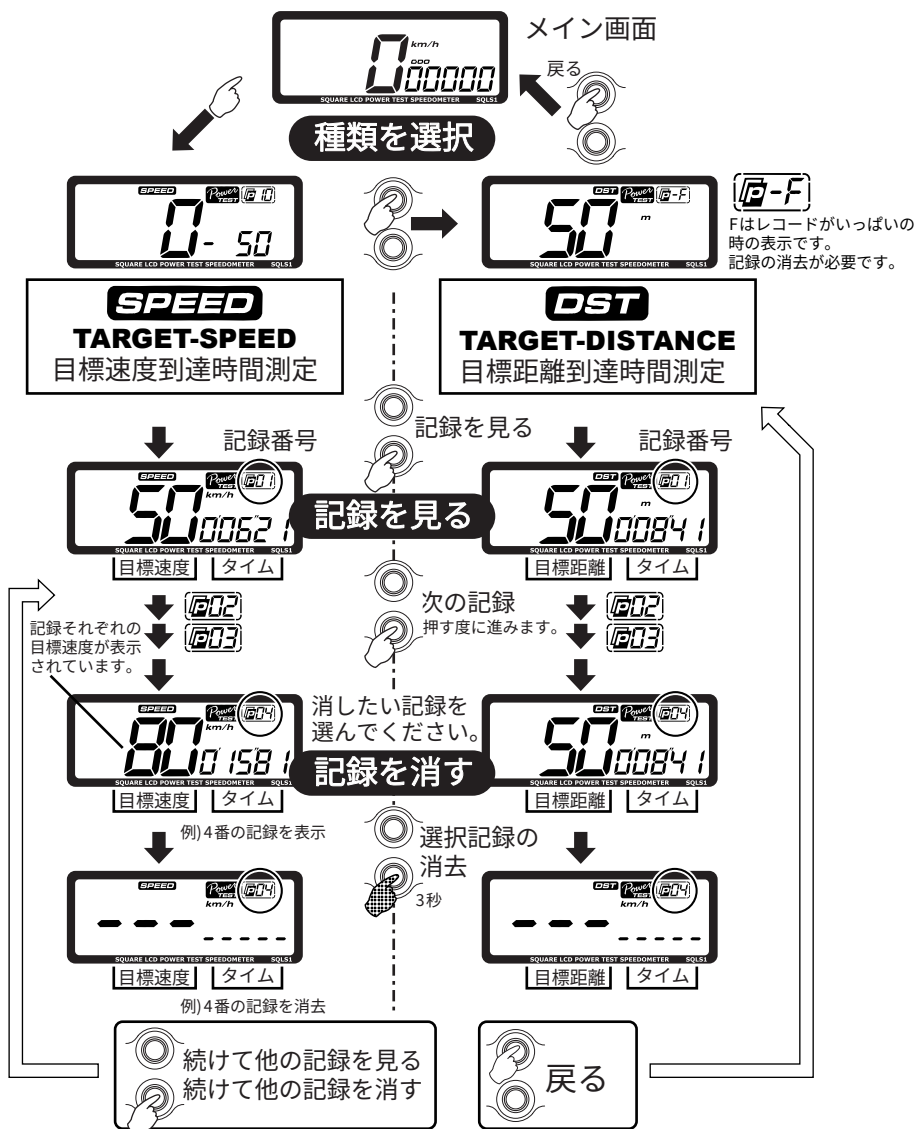


スタート待ち



速度 タイム

距離 タイム



全記録の消去 は B3-3

まえがき	ご使用にあたっての注意点	A 1
内容一覧	商品内容	A 2-1
	機能一覧	A 2-2
速度検知方式		A 3
基本操作方法	標準画面の表示内容、スイッチ操作等	A 4-1
セッティング画面		A 4-2

電源の接続		B 1
スピードメーター	速度センサーの取り付け	B 2-1
	速度補正値の設定	B 2-2
	速度補正値の調べ方	B 2-3
パワーシステム	加速測定について	B 3-1
	目標の設定	B 3-2
	全記録の消去	B 3-3
	加速測定の手順	B 3-4
	記録の確認と消去	B 3-5

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL(0721)25-1357 (代)

FAX(0721)24-5059

(お問合せ専用ダイヤル) (0721)25-8857

株式会社

SPECIAL PARTS 武川

<http://www.takegawa.co.jp>